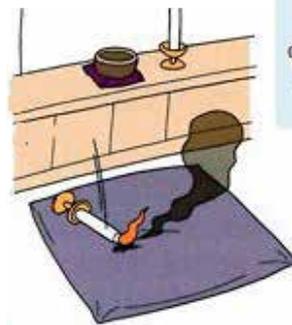


着衣着火に注意！！

調理中のガスコンロの火や、仏壇・神棚などの火が、着ている服に着いて燃え上がることを「着衣着火」といいます。特に寒い季節は、高齢者が厚着をしていて着衣着火に気付かず、重度のやけどや死亡に至る大事故となっています。



■事例 1 コンロ編

- ・お湯を沸かそうと着火した際、袖口に燃え移りやけど。
- ・調理中、ガスコンロの奥に転げ落ちた調味料を取ろうとして着衣に燃え移り、上半身を大やけどして入院。
- ・大事には至らなかったが、調理が終わり気付いたときには、エプロンのひもが燃えていた。

■事例 2 ろうそく・灯明編 とうみょう

- ・ろうそくの固定があまく、目を離しているうちに倒れ、座布団など付近の燃えるものに火が移り一軒全焼。
- ・仏壇のお供え物を入れ替えるため取ろうとしたところ、ろうそくの火が袖に着火。すぐに脱いで消そうとしたが、髪の毛に火が移り顔面と頭部をやけど。

■着衣着火を防ぐポイント

- ・ガスコンロの奥に調味料などの物を置かない。
- ・ガスコンロ越しの作業は、火を止めて行う。
- ・調理中のエプロンやアームカバーは、燃えにくい繊維を使った「防災製品」を使う。
- ・仏壇のお手入れやお供え物を行った後に、ろうそくや線香に灯をともし。
- ・お参りが終わったら、すぐに火を消す。

■着衣着火の対処方法

火が小さいうちは、たたいて消しましょう。



部屋に花瓶などがあれば、その水で消しましょう。



近くに流しやお風呂場があれば、そこにある水をかけて消しましょう。



横になれるところでは転がって消しましょう。



エプロンなどはすぐ脱いで消しましょう。



【令和3年町内の火災等発生状況】

発生区分	12月中	累計
建物	0	3
車両	0	0
林野	0	0
その他	0	1
警戒出動	1	22
救急出動	141	1453
救助出動	2	14

図 益城西原消防署 ☎ 286-2119